

「農商工連携88選」の選定・公表について

平成20年4月4日
農 林 水 産 省
経 済 産 業 省

1. 概要

農林水産省と経済産業省では、農林水産業者と商工業者等が連携して、それぞれの技術や特徴等を活用している先進的な取組を「農商工連携88選」として選定しました。
今後、ホームページやパンフレットを通じて、広く紹介し、多くの事業者の方々の参考にしていただきたいと思いますと考えております。

2. 経緯

- (1) 平成19年11月30日 「農商工連携88選」の実施を公表
- (2) 平成20年2月1日～22日 「農商工連携88選」の公募(応募240件)
- (3) 平成20年3月17日 審査委員会による審査

審査基準 ①定量的な評価(売上高の推移、雇用者数の推移等)

②定性的な評価(連携における参画主体の範囲、創意工夫等)

審査委員会メンバー

米田 雅子 慶應義塾大学理工学部教授(委員長)
青山 佳世 フリーアナウンサー
天野 良英 (株)アムコ代表取締役
金子 和夫 (株)日本総合研究所上席主任研究員

3. 農商工連携88選の内容

取組内容	件数	別紙における番号
「新商品の開発」の取組	47	①②③
「新サービスの提供」の取組	15	④
「新しい生産方式又は販売方式の開発」の取組	26	⑤⑥
多様な連携による取組(件数は上記取組の内数)		
大学や研究機関等とも連携している事例	25	⑦
地域住民や消費者団体等とも連携している事例	9	⑧

(お問い合わせ先)

農林水産省大臣官房企画評価課
担当者:大和田、執行
代表:03-3502-8111(内線3085)
ダイヤルイン:03-3502-5516

経済産業省地域経済産業グループ
産業施設課
担当者:岡本、江上
代表:03-3501-1511(内線2781)
ダイヤルイン:03-3501-1677

○「新商品の開発」の取組

①川越芋を活用したビールの開発

○農業者－製造業者－デザイン会社－大学

- ・当該事業の中核企業である(株)協同商事は、川越地区名産・薩摩芋を原料としたビールの開発を平成18年から実施。
- ・原料の栽培(農業生産者)、加工(農事組合法人)、商品製造(製造業者)、パッケージデザイン(デザイン会社・大学)と4者がそれぞれの強みを活かして連携し、高レベルの商品開発が可能となった。
- ・2007年モンドセレクション最高金賞受賞
- ・商品名に、川越地域の薩摩芋の代表的品種を採用することで、商品の評価が間接的に地域のイメージ向上に還流。
- ・平成18年度売上:900万円
(19年度販売量は300%アップで推移)

[埼玉県川越市]

中核団体:(株)協同商事



2007年モンドセレクション最高金賞受賞

③地場産小麦から高品質な麺を開発

○農業者－製粉業者－製麺会社－大学－公設試験場

- ・小麦生産農家が栽培の難しい「ハルユタカ」の「初冬まき」手法を導入。
- ・製粉業者が少ロット対応の製粉システムを構築、製麺業者が手作り工房を構築し、高品質な麺を開発。
- ・大学、公設試が栽培技術や品質確保・成分分析で協力。
- ・江別経済ネットワークの活動の一環。
- ・地域ブランド「江別小麦めん」として、年間260万食を販売。
- ・平成18年度売上:約3億円

[北海道江別市]

中核団体:江別麦の会



○「新サービスの提供」の取組

②魚梁瀬杉の間伐材を用いたバック等の開発

○林業・木材製品製造業者－コンサルタント、デザイナー

- ・地元の銘木の素材(間伐材)にユニークなデザインによる付加価値を持たせ、木製バッグ、木製電卓という新たなブランド商品を開発
- ・ジャパンブランド事業として、海外へも販路を開拓
- ・平成18年度売上:4,200万円

[高知県馬路村]

中核団体:エコアス馬路村



④規格外品を含めた地元農産物を活用した観光集客

○農業者－旅館業者

- ・地元農家が栽培した農産物を規格外のものも含め旅館業者へ提供。
- ・旅館業者が、新サービスとして規格外品を含めた地元農産物を活用したドレッシングなどの加工品販売、自然食レストランでの新メニュー、ウェディング事業を開始。
- ・年間30万人の観光客が訪れる。

[福岡県岡垣町]

中核団体:(株)グラノ24K



○ 「新しい生産方式又は販売方式の開発」の取組

⑤ ITを活用した酪農用自動給餌システムの開発

○農業者－酪農用機械製造業者－IT企業者等

- ・酪農家、IT企業と連携し、個々の牛の乳量等に応じて給餌量が自動的に決定される、酪農用自動給餌システムを開発。
- ・酪農家での実証試験により、システムの有効性を確認。
→給餌時間が従来の1/20と、大幅な時間短縮を達成。
- ・大学、酪農コンサルとも連携し、家畜栄養学に基づく給餌量自動算出機能の開発等、より高度な自動給餌システムを開発中。
- ・平成18年度売上：約2億円

〔北海道札幌市〕

中核団体：北原電牧(株)



○ 多様な連携による取組

－ 大学・研究機関等とも連携している取組

⑦建設業者の農業分野への参入

○農業者－建設業者－大学－販売業者

- ・わさびは水管理など栽培管理が難しいが、大学から栽培管理技術の指導を受け、建設業者がわさび事業に参入。
- ・土木工事のノウハウが活かせる「わさび栽培装置」を導入。
- ・栽培に当たっては地元農家とノウハウを共有
- ・販売においては、老舗蒲鉾店等と連携。販路拡大に努めている。
- ・地元農家の意欲向上、休耕田の有効活用、建設需要(わさび田造成による)の喚起に効果を上げている。
- ・平成18年度売上：1,200万円

〔宮城県仙台市〕

中核団体：奥田建設(株)



－ 地域住民や消費者団体等とも連携している取組

⑥青森県産りんごの海外販売

○農業者－JETRO－商工会議所－電機メーカー

- ・97年のりんご価格暴落を契機に、片山りんご(株)を中心にりんご生産農家が出荷組合を形成し、海外にりんご販売の活路を求めた取組を展開。
- ・イギリス等の欧州には小玉の「王林」を、中国には大玉の「陸奥」を、と相手国の嗜好に合わせ出荷。輸出先国数は10を超える。
- ・輸送技術開発については、日本電気(株)、貿易実務等については、JETRO、弘前商工会議所と連携している。
- ・平成18年度売上：2,900万円

〔青森県弘前市〕

中核団体：片山りんご(株)



⑧生産・加工流通・消費者が一体となった地産地消・食育の推進

○農業者－製造業者－流通販売業者－消費者団体等

- ・地域における農業を維持発展させるとともに、地産地消・食育活動を通じて地域環境に貢献することを目的に、農業者、商工業者、消費者等が会員となった「一粒の会」を設立
- ・会が中心となって、生協と連携してイベント等を開催し、地元農産物(小麦・大豆等)を使用した加工品のPR・販売促進運動や会員による農作業体験等を通じて、地元農業を守り育てる活動を実施している。

〔愛知県安城市〕

中核団体：あいち中央農協営農部会

